学校番号	1101

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「書Ⅲ」　（光村図書出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

書道Ⅰ、書道Ⅱの学習を踏まえて、より一層幅広い古典を学習し、創作作品を制作することのよろこびを体得する。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
- 書道Ⅰ、書道Ⅱの学習を踏まえて、さらに書の表現の多様性について、創作的活動を通して理解を深めている。
- 書の伝統に基づき、作品を効果的に創造的に表現するために必要な技能を身に付け表している。

【思考力、判断力、表現力等】
古典の美しさを感受し、個性豊かに表現を工夫したり、書の奥深い文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりしている。

【学びに向かう力、人間性等】
書の伝統と文化にかかわり、主体的に表現及び鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式、多様性などについて、書の創造的活動を通して理解を深める。 ・書の伝統に基づき、作品を効果的、創造的に表現するために必要な技能を身につけ、表している。	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	書の伝統と文化に豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	漢字の書	・篆書を学ぼう 「散　氏　盤」さんしはん 「天発神讖碑」てんぱつしんしんひ 「中山王譽方壺」 ちゅうざんおうさくほうこ	a:篆書の成立と変遷書風の特徴を理解している。 b:篆書の美について理解し表現している。表現の特徴を手がかりに臨書している。 c:主体的に課題に取り組んでいる	プリント	作品	鑑賞 発言
後期	（（隷書・篆書）篆刻・漢字仮名まじり・仮名	隷書を学ぼう 「礼　器　碑」 「敦煌漢簡」 「題昔邪之炉廬壁上」 だいせきやしろへきじょう	a:隷書の成立と変遷書風の特徴を理解している。草書の成立と変遷書風の特徴を理解している。 b:隷書の美について理解し表現している。草書の美について理解し表現している。 c:主体的に課題に取り組んでいる	プリント	作品	鑑賞 発言
		・行書、草書を学ぼう 「喪乱帖」 「温泉銘」 「臨河序」	a:行書の成立と変遷書風の特徴を理解している。楷書の成立と変遷書風の特徴を理解している。 b:行書の美について理解し表現している。楷書の美について理解し表現している。 c:主体的に課題に取り組んでいる。	プリント	作品	鑑賞 発言
		・楷書を学ぼう 「楷書前後出師表巻」 「高貞碑」 ・漢詩を作品にしよう	a:　漢詩を理解し書体を決めている。 b:　字調べから自分らしさを表現 表現の仕方を考え、創作している。 c:　主体的に課題に取り組んでいる。	プリント	作品	鑑賞 発言
		・仮名を学ぼう 「本阿弥切古今和歌集」 「弁　色　紙」 「曼殊院本古今和歌集」 「一条摂政集」	a:仮名の特徴を理解している b:　表現の仕方を考え、創作している c:主体的に課題に取り組んでいる。	プリント	作品	鑑賞 発言

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度